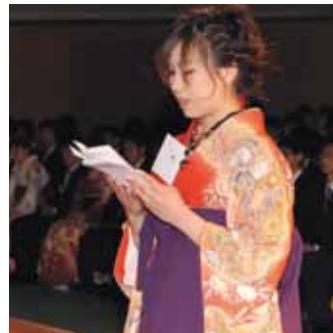
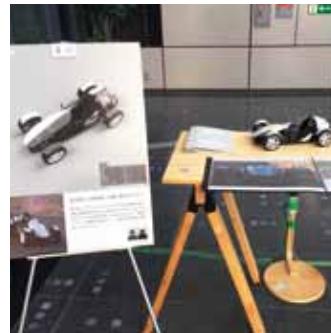




DAIDO CAMPUS

No.90 2017.04



平成29年度入学式を挙行しました

4月3日(月)、本学石井記念体育館で入学式を挙行しました。

式では、神保睦子学長が、「大学生活で勉学やスポーツ、趣味などいろいろな努力をし、経験したことはみなさんの社会に出てからの財産です。大同大学は、そのような財産を築く皆さんのために、最大限の援助を行ないます。身近な世界から飛び出し、様々な経験をしきし、きっと、感動や発見の喜びがあり、自分の可能性が広がります。皆さんのが大同大学で、貴重な実りある大学生活を送ることを心から願っています。」とエールを送りました。

また、新入生代表として、福岡花恋さん(工学部 機械工学科)が挨拶し、「私たちは、大同大学の学生であることに誇りを持ちます。そして、「実学主義」という大学の理念を胸に、勉学に励み、学生生活が有意義なものになるよう努力することを誓います。」と力強く宣誓しました。

式後は、「WELCOME TO D.U.」イベントを在学生たちが開き、クラブ紹介やミニゲーム、bingo大会などを行いました。また、保護者の方向けに新入生父母懇談会も実施しました。



WELCOME



TO



D.U.



神保睦子 新学長就任メッセージ

未来への新しい風

安倍内閣は、「すべての女性が輝く社会づくり」を推進しています。この掛け声に応じてトヨタ自動車をはじめとする企業においても女性の採用比率を高めたり、女性管理職数を倍増したりする動きが本格化しています。こうした動きは、女性がやりがいのある仕事を手にし、発言力を高めていく絶好のチャンスといえます。しかし、当の女性たちが、このチャンスを見逃しているように思えてなりません。本学も含めて理系の女子が少ないのも、その一つです。私が女性として学長に就任したこと、こうした時代に風穴を開ける一つのきっかけになればいいと考えています。

本学は「実学主義」を掲げていますが、「実学」とは、実際にモノを見たり、触れたり、作ったりすることが原点です。そこに感動や発見の喜びがあります。もちろん理論を疎かにすることはできませんが、感動や発見の喜びから生み出されたモノが、社会や産業に貢献することこそが「実学主義」であると私は考えています。モノづくりはグループで取り組むものです。男女関わりなく、分け隔てなく、力を合わせて、時代を変えるものを作りましょう。そして未来に向けて大同大学をさらに良い大学へと変革していきましょう。

学生の皆さんとともに、新しい風を身体で受け止めて、前へ進んでいきたいと思います。



PROFILE

1991年3月名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学。その後、大同工業大学に赴任、工学部電気電子工学科教授、大学院工学研究科修士課程電気・電子工学専攻専攻長、電気電子工学科 学科長などを経て、2017年4月大同大学学長に就任。

伊藤由華さん、近藤直生さん、築城佑果さん
(大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻)

「東海YFEフォーラム2016」にて ポスターセッションを行いました

11月25日(金)にウインクあいちで開催された、公益社団法人日本铸造工学会東海支部若手铸造エンジニア懇話会が主催する「東海YFEフォーラム2016」にて、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻1年 前田研究室の3名がポスターセッションに参加しました。

伊藤由華さんが、「高温鑄物砂への散水における冷却挙動」、近藤直生さんが、「重力铸造におけるアルミニウム合金充填挙動の直接観察とシミュレーション」、築城佑果さんが、「ポーラスメディア情報が湯流れ挙動に及ぼす影響」の内容で、それぞれセッションを行いました。

また、前田研究室のホームページでは、随時、研究室の活動を報告しています。ぜひご覧ください。

前田研究室ホームページはこちら:

<http://yasuhiro-maeda.com/>



手島大仁さん(大学院 情報学研究科 修士課程 情報学専攻)

電気・電子・情報関係学会 東海支部連合大会で 優秀論文発表賞を受賞しました

平成28年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会で、大学院 情報研究科 修士課程 情報学専攻 手島大仁さんが優秀論文発表賞に選ばれました。

この連合大会は、電気学会東海支部・電子情報通信学会東海支部・情報処理学会東海支部・照明学会東海支部・映像情報メディア学会・東海支部・日本音響学会東海支部・IEEE名古屋支部が主催するもので、2日間にわたり、一般講演や特別講演、ポスターセッション、シンポジウムなどが行われました。一般講演は発表10分、質疑応答2分で発表がなされ、手島さんは、論文「3次遅れ要素による広域遮断フィルタを併合した最適レギュレータ」を発表し、みごと優秀論文発表賞に選定されました。この表彰式は、1月20日(金)に行われました。



林秀行さん(工学部 総合機械工学科)

冠歯車減速機を発明! 特許を取得しました!



工学部 総合機械工学科4年
の林秀行さんが「冠歯車減速機」を発明し、1月23日(月)
にその特許を取得しました。

林さんは、本学に入学後、減速機(ギア)に興味を持ち、様々な減速機を実際に製作するようになりました。そして、独学で減速機について研究を深め、歯車による減速機構以外の方法を思案するうちに、これまでと全く異なる発想に基く減速機構を考案しました。

このアイデアを以って、平成27年度のパテントコンテストに応募したところ、見事入賞し、特許出願支援対象者となったことで弁理士による特許出願のサポートを受け、今回の特許取得に至りました。

なお、林さんは、平成26年度のパテントコンテストでも入賞し、特許出願対象者として選ばれています。その際は日本有数の大企業が同様のアイデアをわずかながら先に出願していたため、特許の取得には至りませんでした。しかし、この大企業と伍する発明をした経験に自信を深め、今回の特許取得という成果につながりました。

関連記事:

パテントコンテストで入賞しました! /

林さん(総合機械工学科)

<http://www.daido-news.jp/news/2015/12/25165711.html>



岩崎沙彩さん、寺島由華さん、増山弥恵さん
(工学部 建築学科)

「建築系愛知10大学共同企画展」 に出展しました

12月6日(火)～1月15日(日)まで名古屋都市センターにて開催された、「建築系愛知10大学共同企画展～次世代に引き継ぐ魅力ある都市～」に工学部 建築学科 建築専攻の岩崎沙彩さんと、インテリアデザイン専攻の寺島由華さん、増山弥恵さんが出演しました。

岩崎さんは、『建築設計3』で取り組んだ「小学校」の課題を、寺島さんと増山さんは『インテリア設計3』で取り組んだ「海の見えるレストラン」の課題をそれぞれ展示しました。

また、12月18日(日)には合同講評会が開催されました。



山下陽輝さん、熊澤祐哉さん、北川遼馬さん、丹下恭太朗さん、下田栞さん、中山瞭平さん
(工学部 建築学科 インテリアデザイン専攻)

『第4回主張する「みせ」学生デザインコンペ』で受賞しました

全国レベルの学生デザインコンペである『第4回主張する「みせ」学生デザインコンペ』に、インテリアデザイン専攻の学生が、3年後期のカリキュラムの1つである「インテリア設計4」で前半の設計課題として取り組み、提案しました。2016年12月に行われた審査の結果、3グループの提案作品が受賞を果たしました。なお、建築学科の加藤和雄教授、太田忍非常勤講師が指導教員を担当しました。

〈受賞した作品・学生〉



作品名:

「i Façade insist/information」

受賞名:「ファブリック部門賞・佳作」

学生:山下陽輝、熊澤祐哉

趣旨:

建物の1Fファサードの面、それを包むL型のファサードを設け、そのスクリーン面を情報ディスプレー・パネル(透明なディスプレー・パネル)し、そのビル全体のフロアー内のテナント情報、商品情報、イベント情報が流れ、ビル内に入らなくても内部の状況がファサード部にて情報を得ることができる。またL型ファサード部の情報ディスプレー・パネルでは、ビル内情報あるいは、この地域全体、あるいは全国の特徴を体感することができる。



作品名:

「CASE×CASE ~預かるファサード~」

受賞名:「奨励賞」

学生:北川遼馬、丹下恭太朗

趣旨:

新宿バスタ(バスターミナル)は高速ターミナルとてあるが利用者からコインロッカーが少ないと不満の声が絶えずバスタの施設内にはそのスペースがない。そこで今回は新たなコインロッカー型のファサードを提案する。テント生地のロッカーは自転車、旅行者の荷物を預かり、上部に懸垂され、収納の底が生成される。ファサードの下部が自転車などでゴチャゴチャにならず、すっきりとした空間が保持され、新たな収納型のファサードによる新たな景観が形成され、不思議な体験が生まれている。



作品名:

「Floating Shop 移り変わるファサード」

受賞名:「奨励賞」

学生:下田栞、中山瞭平

趣旨:

廃れた商店街や、中小ビルが並ぶ場所へこの吊るされた店を提案する。新しく展開する吊るされたショッピング街は上下左右に可動する。可動することで店が繋がり、並ぶことで店のファサードが移り変わる。季節、イベント、日時ごとにショッピング街のファサードは日々変化するため、毎日が見逃せない店となる。

北川遼馬さん、山下陽輝さん、熊澤祐哉さん(工学部 建築学科 インテリアデザイン専攻)

『キルコス国際建築設計コンペティション2016』で入賞

キルコス国際建築設計コンペティション実行委員会の主催で、6回目の開催となる『キルコス国際建築設計コンペティション2016』に、インテリアデザイン専攻の北川さん、山下さん、熊澤さんが、「傾く窓の家」(作品番号240)で応募し、見事入賞しました。

キルコス国際建築設計コンペティションは20組の審査員一人ひとりが、金賞・銀賞・銅賞・佳作を選定する国際建築設計コンペティションです。各審査員が、金賞一点、銀賞一点、銅賞一点、必要に応じて佳作数点を選定し全てを表彰します。

北川さん、山下さん、熊澤さんの作品「傾く窓の家」は、応募作品301点の中から、郡裕美賞の金賞、長坂大賞の銀賞を重ねて受賞しました。

3月4日(土)～3月12日(日)に、『キルコス国際建築設計コンペティション2016』の展覧会が、トヨタホーム本社セミナールームで行われ、初日の3月4日(土)には授賞式と記念シンポジウムが行われました。

キルコス国際建築設計コンペティション2016ホームページ
<http://www.circos.jp/>



傾く窓の家

吉川慎平さん (大学院 工学研究科 修士課程 都市環境デザイン学専攻) 土木学会 学術講演会で 「優秀講演者賞」を受賞しました



9月7日(水)～9日(金)、東北大大学で行われた土木学会 平成28年度全国大会 第71回年次学術講演会において、本学大学院修士課程都市環境デザイン学専攻2年の吉川慎平さんが「優秀講演者賞」を受賞しました。

社会人修士学生として研究に取り組んできた、今回の研究発表「河道掘削時に造成された低水路内人工ワンド環境の維持に関する考察」では、河川の工事の前に水位観測を簡易な方法で適度な密度で短い期間、計測しておく事前調査をするだけで、現地の普段や洪水の流れや土砂の動きに関する特徴について予測し、現地の設計や水辺のあり方を考える材料として役立つことを示しました。

質疑応答では河川管理の実務的な議論がなされたこともあり、賞状が届いて吉川さんは「全く思いがけず評価していただけたようで、恐れ多いですが、大変有り難い。」と話しました。

この研究の成果は、2月に取りまとめた修士論文の一部として、詳しく掲載されました。

合田彩乃さん、仙敷絵理さん、福田充さん (情報学部 情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻) デザインパテントコンテストで 入賞しました

文部科学省、特許庁、日本弁理士会、(独)工業所有権情報・研修館が主催する、平成28年度デザインパテントコンテストで合田彩乃さん、仙敷絵理さん、福田充さんが入賞しました。



デザインパテントコンテストは、日本の次世代を担う若い高校生、高等専門学校生、大学生、専修学校生及び大学校生の皆さん、自ら考え出したデザイン(意匠)について応募し、優秀なものについては優秀賞(出願支援対象)として表彰するとともに、実際に特許庁への出願を支援することで、意匠権の取得までの手続を実体験するもので、知的財産マインドを育てると共に、知的財産権制度の理解を促進することを目的に開催しています。

応募総数318件の中から、2年 合田さんの「Twineknob」、3年 仙敷さんの「スプーン」、2年 福田さんの「Branch Knob」が大学部門で入賞し、意匠登録出願支援対象者に選ばされました。

また、合田さんは「独立行政法人工業所有権情報・研修館 理事長賞」も受賞し、「授業で頭で思い描いていたのより良いものが完成したので、コンテストのお話を聞いたとき良い機会だと思い応募しました。著作権や意匠登録についての知識が深まり勉強になりました。二つも賞をいただくことができて嬉しく思います。」と受賞の感想を語っていました。

表彰式は1月23日(月)に東京のJRタワーホール&カンファレンスで開催されました。

デザインパテントコンテスト

http://www.inpit.go.jp/jinzai/contest/design_patent/

久米史也さん(情報学部 情報システム学科 コンピュータサイエンス専攻) スタートアップウィークエンド豊橋に 参加して優勝しました



2月17日(金)～19日(日)に行われたスタートアップウィークエンド豊橋に参加し、久米さんが所属したチームが優勝しました。参加者は、用意してきたビジネスプランに共感する仲間を集めてチームを作ります。久米さんのチームは、「バースデリバリー」という、記憶に残る誕生日を演出するサービスを商品として検討し、久米さんは機能の開発を担う「ハッカー」を担当しました。

男女ハンドボール部

「第14回レッツジュニアスポーツ体験交流イベント」でスタッフとして参加

1月22日(日)、愛知県名古屋市にある日本ガイシホールにて行われた、JASS主催「第14回レッツジュニアスポーツ体験交流イベント」に、スポーツディレクター＆コーディネーター・講師として本学の佐藤壮一郎監督(男子ハンドボール部)、齊藤慎太郎監督(女子ハンドボール部)が、サポートスタッフとして男女ハンドボール部の学生が参加しました。

レッツジュニアスポーツ体験交流イベントは、ジュニアスポーツの振興と活性化とともに、「複数種目のスポーツ」と「ボールなどを利用した楽しいコーディネーショントレーニング」を体験することによって、競技スポーツとは別にスポーツの楽しさを伝え、今後より多くの子どもたちがスポーツに参加するきっかけとなることを目的としています。



本学の監督と学生は、コーディネーショントレーニングの指導をしたり、野球・サッカー・ソフトテニス・ハンドボールの4種目のスポーツをローテーションで体験＆体感するコーナーのサポートをしたりと運営のサポートをしました。また、ハンドボールのデモンストレーションマッチも本学の学生が行いました。

男女ハンドボール部

第17回大同フェニックスカップで 運営サポートをしました



2月18日(土)、19日(日)、東海市体育館で第17回大同フェニックスカップが開催され、男女ハンドボール部の学生が運営のサポートをしました。

この大会は、全国から小学生ハンドボールチームが集まって行われる大会です。学生たちは、子供達のアップの手伝いや応援、荷物運びなどを行いました。学生は一日チームに帯同したこと、参加した小学生にこれからもハンドボールを続けてもらえるように、ハンドボールの楽しさを伝えていきたいと感じたようです。

男子ハンドボール部

日本ハンドボール選手権大会に出場! 中日新聞でも紹介されました

12月20日(火)～
12月25(日)エスフォルタアリーナ八王子と駒沢体育館で開催された、第68回日本ハンドボール選手権大会に、本学男子ハンドボール部が出場しました。



12月16日(金)付 中日スポーツ

また、12月16日(金)付の中日スポーツでも出場について、紹介されました。

12月16日(金)付の中日スポーツでは、男子ハンドボール部の写真とともに、当時の、4年 原田一沙主将、3年 原田竜汰選手、2年 三重樹弥選手のことが紹介されており、大会に向けて、原田一沙主将は「当たって碎けろじゃないけど、結果にこだわりながら悔いを残さず戦い、社会人を倒したい」とコメントしました。また、主将の弟である3年 原田竜汰選手は4年生4人がこの大会で引退することを意識し、「兄たち先輩に、最後にいい思いをさせてあげたい気持ちもある。厳しい戦いになると思うけど、やるからには上を目指す」とコメントし、掲載されました。

本大会、本学男子ハンドボールは第1回戦 大同大学(36-21)東北福祉大学、第2回戦 大同大学(27-22)北陸電力と勝ち進み、3日目の12月22日(木)には、大同大学(23-35)湧永製薬で敗戦となっていましたが、実業団にも勝利するなど、全国に大同大学の強さを見せつけてくれました。

これからも、男子ハンドボール部の活躍に期待しています。皆様も引き続き、応援をよろしくお願ひいたします。

山中嘉太朗さん(情報学部 情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻 岡田研究室)

中日新聞、NHK「ほっとイブニング」で有松絞りの研究が取り上げられました

1月7日(土)中日新聞、3月23日(木)NHK「ほっとイブニング」(月～金、18:10～19:00)で、岡田心研究室 山中嘉太朗さんの有松絞りの研究が紹介されました。

山中さんは、400年以上続く有松絞りを後世に伝承していくために、自身の技術を使って力になることができないかと思い、この研究に取り組みました。たたんだ布を木版で挟んで染める「板締め絞り」に目をつけて、板自体に柄を彫ることで複雑な模様を簡単に作ることができるのでと考え、試行錯誤を繰り返しました。

3D切削機を用いて板に柄を彫っただけでは、うまく柄が出なかったため、板にかかる圧力を測定して調整し、何度も試作した結果、美しいグラデーションで細やかな柄の「片野絞り」に似た新たな模様が生まれました。板の模様を変えるだけで、様々な模様を作ることができるために、これまでの技法では出来なかった模様で染めることも可能になります。この方法を「山中絞り」と名付け、山中さんが卒業した今は、岡田研究室の後輩が研究を引き継ぎ、山中さんも手助けをしながら、模様の種類や耐久性の改善などをし実用化を目指しています。



1月7日(土)付 中日新聞

男子ハンドボール部

全日本インカレベスト4の裏側に感動の再会がありました



12月16日(金)付 中日新聞夕刊

昨年12月に男子ハンドボール部が全日本学生選手権において創部初のベスト4に輝いたことはまだ記憶に新しいところです。

ベスト4を懸けた日体大との大事な一戦の前に選手たちが大きな勇気を貰う感動の再会がありました。

2010年に福岡・九州産高から日本一を目指し大同大学に入學し、ハンドボール部に入った土肥伸太郎さん。その年の9月に難病にかかり車椅子生活を余儀なくされ、治療のために大学を辞め地元福岡に戻りました。

大学を辞める時に「いつか歩けるようになって応援にきてくれ」という佐藤壯一郎監督との約束を胸に、土肥さんは途中で挫けることなく5年間という長いリハビリ生活を続け、ベスト4を懸けた試合当日、福岡から4時間かけて列車を乗り継ぎ自分の足で徳島まで応援に来てくれたのです。

声をかけられた佐藤監督は土肥さんが自らの足で立って目の前にいる姿に驚き、喜んで「きっと奇跡が起きる」と試合前の選手全員と握手をさせたそうです。選手たちは土肥先輩の姿に勇気を貰い、これまで三度対戦し一度も勝てなかった強豪日体大に見事勝利し初のベスト4を勝ち獲りました。土肥さんもまた選手たちに背中を押され「もう一度ハンドボールのコートに戻る」と新たな目標が芽生えたそうです。

この感動の再会は12月16日(金)の中日新聞夕刊において大きく紹介されました。

井藤隆志研究室

(情報学部 情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻)

企業と共同で電動車いすを開発

本学プロダクトデザイン専攻の井藤研究室が、ベビーカーや自転車を開発している高橋製瓦株式会社(本社・岐阜市)と共同で、電動車いす「SCOO」(スクー)を開発しました。

高齢化社会がますます進む中で、歩行が不自由になり、外出にためらいがちなお年寄りが気軽に外に出る機会を増やすことを助けすることを目指して実用化が進められているのが、この「SCOO」です。

SCOOが採用している日本初のサイドステアリング方式(コントローラーの回転ノブで前後進し、コントローラーを前後させることで方向転換する独自の操作方式)は、岐阜県研究財団法人の支援を受け、井藤研究室と高橋製瓦で共同研究開発されました。

SCOOは前方にハンドルがないため乗り降りがしやすく、片手が不自由でも手軽に操作できます。

折りたたんで持ち運べるため、車やバスに載せて、遠出もできます。バッテリーを外せば飛行機にも荷物として積み込めるため、海外旅行にも持つていけます。

量産化に向けて多額の資金が必要になるという難題がありますが、2016年12月にANA(全日空) WonderFLYクリエイティブアワードを受賞し、現在ANA(全日空)のクラウドファンディング「WonderFLY」に参加し1,000万円の資金を調達することを目標にして量産化を目指しています。

3月2日(木)には、開発者(井藤教授含む)による製品説明会と試乗会が開催されました。

「SCOO」について詳しくはこちら:

<https://wonderfly.jp/cf/ideas/470>

杉本幸雄研究室

(情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻)

大学プロモーションビデオ 第4弾を制作中!

メディアデザイン専攻の杉本研究室が、杉本幸雄教授のサポートのもと、監督・助監督・照明等のスタッフを担当し、本学のプロモーションビデオを制作しています。

ストーリーや、絵コンテの作成、施設の借用や出演交渉から、セリフや音、演出、編集まですべてを学生が担当し、3月29日(水)～31日(金)の3日間で学内ロケを行いました。

このプロモーションビデオは、6月4日(日)に開催されるオープンキャンパスで初お披露目され、ホームページでも公開します。どうぞお楽しみに!

過去のPVはこちらからご覧いただけます:

<http://www.daido-it.ac.jp/gallery/>



本学ホームページがリニューアル! 入試・広報室の公式ツイッターアカウントもオープン!

4月1日(土)より、本学のホームページがリニューアルしました。今までのホームページからデザインを一新し、さらに使い勝手が良く、見やすくなりました。今後も先生や学生の活躍をニュース欄にアップしていくので、ぜひアクセスしてください。

また、入試・広報室のツイッターアカウントもオープン! サークルの活動など、学生生活も含め、リアルタイムで大同大学の「今」を発信します。こちらもぜひフォローして下さい。



twitter



@daido_nyushi



大同大学 入試・広報室

公式アカウント:

https://twitter.com/daido_nyushi



本学ホームページ:

<http://www.daido-it.ac.jp/>

※Facebook等、各SNSで情報発信しております。

宮本潤示講師(工学部 機械工学科)

日本熱処理技術協会講演大会の実行委員を務めました

12月8日(木)、9日(金)に名城大学で日本熱処理技術協会が開催する第82回(平成28年秋季)講演大会が開催され、その実行委員を宮本講師が務めました。

本大会は中部支部20周年記念大会を兼ねており、前日の7日(水)には見学会、祝賀会が開催されました。また、講演会当日は中部地区の特徴の一つとして自動車を取り上げ、テーマ「自動車等における材料・熱処理・表面改質の進化」として基調講演、依頼講演が行われ、盛況に終わりました。

日本熱処理技術協会講演大会(ホームページ)

<http://www.jsht.or.jp/meet/>

西脇武志教授、前田安郭教授(工学部 機械工学科)

「金属×材料×加工 技術支援ネットワーク(テクサポネット)」に参加しています

本学機械工学科の前田教授と西脇教授は、『金属×材料×加工技術支援ネットワーク(テクサポネット)』に参加しています。

『金属×材料×加工 技術支援ネットワーク(テクサポネット)』は、金属・材料・加工分野において大学研究者と公設試験研究機関が組織の枠を越えて連携して、中小企業の技術力強化等を支援するもので、モノづくりに関する相談窓口と言えます。現在は愛知県の11人の大学研究者と、2つの公設試験研究機関が登録されています。

『金属×材料×加工 技術支援ネットワーク(テクサポネット)』

詳細はこちら:<http://www.chubu.meti.go.jp/b31technology/echsupponet/index.html#sangi-top>

井原禎貴准教授(工学部 総合機械工学科)

日本機械学会エンジンシステム部門の研究会で幹事を務めました

2月11日(土)、日本機械学会エンジンシステム部門が行っている研究会「第94期エンジンシステム部門研究会」の一つとして開催された「内燃機関の熱効率55%達成に向けた技術の道筋を議論する研究会」で、井原准教授が幹事を務めました。

研究会は年4回開催されており、本会は本年度の最終回です。大学に所属する研究者や自動車メーカー等に勤める技術者が、内燃機関の熱効率を将来的に55%まで引き上げるにはどのような技術

が必要か議論がなされ、「燃費トレンドと採用技術」「自動車を取り巻く環境と課題」「火花点火機関火炎伝播の要諦」が議題として挙がりました。

毎回、各メーカーの技術者から最新の技術トレンドや国内外の規制動向が報告され、また、大学研究者からは将来技術に結びつく基礎研究が紹介されます。その後の質疑応答では、非常に活発な議論が行われました。

堀尾吉巳教授(工学部 電気電子工学科)

2016年真空・表面科学合同講演会で副委員長を務めました

11月30日(火)～12月1日(木)名古屋国際会議場にて、公益社団法人日本表面科学会と一般社団法人日本真空学会が主催する『2016年真空・表面科学合同講演会』が開催されました。

堀尾教授は、表面科学会の実行委員長を務めています。今回の合同講演会では副委員長として運営に携わり、開会式で挨拶を行いました。

参加者は700名にも上り、応用物理学会や日本物理学会をはじめ39の学会、協会から協賛を得て、企業からも62社の出展がありました。また、口頭講演では273件を最大7会場パラレルで開催し、ポスター講演では171件が発表されました。基調講演ではカーボンナノチューブの発見で有名な飯島澄男先生(名城大)による「新奇な一次元物質」、森川健志先生(豊田中研)からは「人工光合成：CO₂と水と太陽光エネルギーで有機物を合成する」の演題で講演がなされました。その他、数多くのシンポジウムも開催され、盛況なうちに幕を閉じました。



堀尾研究室からも3名の院生がポスター発表を行い、大変刺激を受けたようでした。本学術講演会は中部地区で初の開催となり、中部・東海地区の40名ほどの大学教員や研究所の研究者と共に1年ほど前から準備作業が始まり、数多くの準備委員会を経て実現したものです。

中島貴光准教授(工学部 建築学科 建築専攻／インテリアデザイン専攻)

「あらかわ創造舞台芸術祭2017」で舞台美術を担当しました

昨年、一昨年に引き続き、本年もあらかわ舞台芸術創造プロジェクト「あらかわ創造舞台芸術祭2017」で中島准教授が舞台美術を担当しました。このあらかわ舞台芸術創造プロジェクトは、能とオペラの融合による新たな舞台芸術を発信するというものです。

3月20日(月・祝)に行われた「あらかわ創造舞台芸術祭2017」では、第1部に能『胡蝶』、第2部にオペラ『レクイエム』、第3部にプロジェクトの集大成として、人形浄瑠璃や歌舞伎、オペラにまで影響を与えた大作『隅田川』を能×オペラ(日本の伝統の「能」の心と技、「西洋音楽」の美しい声の響き、ふたつが融合した)で上演され、その舞台美術を中島准教授が担当しました。

あらかわ創造舞台芸術祭2017『能×オペラ 隅田川』

<http://www.acc-arakawa.jp/event/talent/2017/03/2016-7.html>



堀尾吉己教授(工学部 電気電子工学科)

表面分析セミナーで講師を務めました

10月28日(金)にあいち産業科学技術総合センターにて表面分析セミナーが開催され、堀尾教授が講師を務めました。

本セミナーは、応用物理学会東海支部設立50周年を記念して開催されました。

堀尾教授は、2回にわたり行われた表面分析セミナーのうち、第1回目の「回折・分光法」の中で「X線回折、電子回折」という題目で講演しました。

大学や企業の関連研究者が参加者として多数集まり、講演の前には、あいち産業科学技術総合センターの施設見学も行われ、シンクロトロン設備をはじめ多くの大型分析装置の説明がなされました。

山田靖教授(工学部 電気電子工学科)

ネプコンジャパン2017でセミナーの講師を務めました

1月18日(水)～20日(金)に、東京ビッグサイトで行われた、ネプコンジャパン2017の【第46回インターネプコンジャパン】にて、山田教授がセミナーの講師を担当しました。

ネプコンジャパン2017では合計2270社が出展しており、そのうちの第46回インターネプコンジャパンは、300社が出展しました。

山田教授は、1月18日(水)の【次世代パワーエレクトロニクス 最新技術動向】にて『パワー半導体デバイスの高温動作化に向けた接合技術』のテーマで講演を行い、EV/HV技術や次世代パワー半導体、高温動作接合技術について、話がなされました。

山田靖教授(工学部 電気電子工学科)

技術情報協会のセミナーで講師を務めました

2月22日(水)に東京にて開催された、技術情報協会のセミナー「SiCパワーデバイスにおける封止・接合部材の熱応力対策とその解析技術」で、山田教授が講師を務めました。

セミナーは、「1.パワーデバイスの熱応力と封止材料での対策—基板(SiC等)と発熱およびその封止技術ー」「2.アルミナ粒子の複合によるエポキシ樹脂の高熱伝導化技術」「3.パワーデバイスの接合における信頼性評価」「4.SiCパワーデバイスの温度、熱応力

のシミュレーション、解析技術」の4テーマで構成され、山田教授はそのうちの「3.パワーデバイスの接合における信頼性評価」を担当しました。信頼性評価の方法そのものも検討されている状況でこれから変わっていく可能性も高いとし、その中でも、受け身の姿勢ではなくチャレンジ精神で取り組んだ結果得られた、新しい接合技術の信頼性評価を中心に説明がなされました。

朝倉宏一教授、佐藤秀樹教授 (情報学部 情報システム学科 情報ネットワーク専攻) ACM IMCOM '17で 論文賞を受賞しました

1月5日(木)～7日(土)まで、大分県別府市で開催された国際会議「ACM IMCOM '17 (the 11th International Conference on Ubiquitous Information Management and Communication)」にて、朝倉教授と佐藤教授が共著で発表した論文が論文賞を受賞しました。

この国際会議は情報工学分野で世界最大の学会の一つ ACMが開催するものです。ユビキタス社会における情報システムと通信システムに関する国際会議で、今年で11回目を迎えます。

論文賞は約400件の投稿から29%の採択率で選ばれた113件の論文の中から、ただ1件のみに与えられた大変名誉ある賞です。

論文のタイトルは「Construction and Analysis of Easily Fold-able Processes for Computer-aided Origami」です。折り紙をコンピュータで支援するシステムを開発するために、コンピュータの内部でどのように折り方の手順を管理するかを提案したものです。このシステムが完成すれば、折り紙をよく知らない子供や外国の方でも折り紙を楽しめるようになります。

なお、論文の筆頭著者は情報システム学科の島貴博非常勤講師です。



小島一宏准教授 (情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻) 愛知県警豊田警察署長から 「感謝状」を授与されました

3月14日(火)、小島准教授が愛知県警豊田警察署の水野正樹署長から「感謝状」を授与されました。

小島准教授は、「あなたの声で街を安全に」企画の一環として、豊田警察署管内や愛知県全域でパトカーやミニパトカー、特別警戒隊の車両および交通取り締まり車両から流される、さまざまな啓発コメントを録音し無償提供しました。

3月14日(火)から当分の間、豊田市内や愛知県内各地で「振り込め詐欺防止」「自転車の安全走行促進」「飲酒運転撲滅」などを呼び掛けるコメントを聞くことがあるかと思います。「東海ラジオパーソナリティ、大同大学准教授の～」と流れますので、ぜひ耳を澄ましてみてください。



新刊紹介

『歴史のなかのブロンテ』

共訳:松井豊次教授(教養部 外国語教室)

本書は19世紀英文学を代表する作家、ブロンテ姉妹について、多角的に分析された論文集の翻訳です。

松井教授は第33章「農業と工業」を担当しました。

内田能嗣・海老根宏監修
大田美和・清水伊津代・白井義昭・
橋本清一・廣野由美子監訳
マリアン・トールマレン編

出版社:大阪教育図書 出版年:2016年12月
556ページ ISBN:9784271310310
価格:7,000円(税別)



『アルゴリズムとデータ構造』

田中秀和 特任教員(情報学部 情報システム学科)

電気電子系教科書シリーズの第1陣の教科書として、田中教授著の「アルゴリズムとデータ構造」が発刊されました。

今年度から情報システム学科の教科書として使用されます。

このシリーズは一昨年の夏から田中教授が着手していたもので、編集委員も務めています。その編集委員として、田中教授が査読・校閲した教科書「コンピュータアーキテクチャ」(予定)も近々発刊される予定です。

また今後も、田中教授の著作、編集を行う教科書の発刊が予定されております。

「アルゴリズムとデータ構造」
(実践的技術者のための電気電子系教科書シリーズ)
著者 / 編集:田中秀和
出版社:理工図書 発売日:2017年3月
サイズ:単行本 A5
ISBNコード:9784844608561
価格:3,200円(税別)



小島一宏准教授(情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻)

『第38回ヨコハマ映画祭』の司会を担当しました

2月5日(日)に横浜の関内ホールで行われた『第38回ヨコハマ映画祭』の司会進行役を、今年も小島准教授が担当しました。

“映画ファンのための熱いまつり”と謳われる『ヨコハマ映画祭』は、一般的な映画ファンたちが一から映画祭を作り上げ、定着させた注目の催しです。毎年、前年に公開された日本映画から投票で選ばれた「主演男優賞」「助演女優賞」「最優秀新人賞」「監督賞」「撮影賞」「脚本賞」などの個人賞、さらに最も優れた映画と認められた「作品賞」を表彰し、その栄誉を称えます。選出された俳優や映画スタッフがほぼ勢揃いし、手作りの映画祭ならではの華やかでなごやかな表彰式がステージで繰り広げられます。

今年は三浦友和さんや柳楽優弥さん、杉咲花さんに小松菜奈さん、のんさんらが登壇され、受賞の心境や撮影秘話などを小島准教授が聞き出しました。特に、苦しい時期を乗り越えて12年ぶりのヨコハマで「主演男優賞」を手にした柳楽優弥さんは、涙、涙のスピーチで観客を感動させ、小島准教授の「おかえりなさい」との呼び掛けに、涙目に満面の笑みで拳を突き上げながら「ただいま!」と叫び、大きな拍手を受けていました。

ヨコハマ映画祭について

詳しくはこちら:<http://yokohama-eigasai.ooo7.jp/>



岩橋尊嗣 特任教員

(情報学部 総合情報学科 かおりデザイン専攻)

12月10日(土)付の中日こども ウィークリーに コメントが掲載されました

12月10日(土)付の中日こどもウィークリー第280号に岩橋特任教員のコメントが掲載されました。

掲載されたのは「香りでリラックス」という記事で、気持ちの良い香りを人の記憶に刻むことで、その場所に安心感や良い印象を訪れる人に持たせるように働きかける施設が増えていることや、嗅覚についても触れています。

岩橋特任教員は香りや匂いの効果について「記憶を呼び起こす力もある」と解説し、「良い悪いに関係なく、いろんな匂いに触れて」と匂いの感覚が幼いうちから磨くことが大切だとコメントしました。



12月10日(土)付
中日こどもウィークリー

大東憲二教授

(情報学部 総合情報学科 経営情報専攻)

12月5日(月)シンポジウムで パネルディスカッションの コーディネーターを担当

12月5日(月)に開催されたシンポジウム「水循環基本計画の下での地下水に関する取組」で、大東教授がパネルディスカッションのコーディネーターを務めました。

本シンポジウムは水循環基本計画および水循環施策の全体像、健全な水循環の維持・回復に向けた地下水に関する国や自治体の取り組みについての講演と、今後の地下水に関する施策のあり方やそのための課題、今後の展望を議論することを目的としています。

大東教授は、「健全な水循環の維持・回復のための取り組みと地下水学の貢献」をテーマとしたパネルディスカッションのコーディネーターを務め、施策実施時の問題点や、地下水学や学会への期待や展望について、議論がなされました。

X4デザイン専攻・リレー展 卒業制作展を開催しました

大同大学「X4デザイン専攻・リレー展」は、本学デザイン系の専攻から4専攻、建築専攻・インテリアデザイン専攻・メディアデザイン専攻・プロダクトデザイン専攻がそれぞれ専門分野の魅力を広く学外の人たちにも知ってもらいたいという思いからスタートした展覧会です。

それぞれの専攻がバトンを手渡していくリレーのように、名古屋市内で順次展覧会、発表会を行いました。

2月22日(水)～28日(火)の期間に、ナディアパークで、4専攻の卒業制作展をそれぞれ開催したほか、シネマスコーレでメディアデザイン専攻の「学生作品上映&トークショー」、名古屋市昭和文化小劇場でメディアデザイン専攻の「サウンドアートコンサート」が開催されました。



(写真提供: アルバム委員会)

▲メディアデザイン専攻



▲建築専攻／インテリアデザイン専攻



▲プロダクトデザイン専攻

学食新メニュー試食会が行われました

3月14日(火)、本学にて学食の新メニュー試食会が行われました。新メニューは女性向けのランチボックスで、実際に女子学生に意見を聞いてメニューが提案されました。サラダやパンなどにスープが付き、ヘルシーなものになっています。また、スープは2種類の中から選択可能で、スープの種類もローテーションで6種類用意されています。



ランチボックスなので、持ち運びができ、学生ホールや外のテーブルでランチタイムを楽しむことができます。4月10日(月)から実際に販売開始され、売れ行きの様子をみて今後さらに改善されていきます。

韓山師範学院(中国)との学術交流協定を更新しました

平成24年4月に韓山師範学院と交わした学術交流協定が今年度満了となるため、12月21日(水)に学術交流協定更新調印式を執り行いました。

韓山師範学院とは平成25年から学生の交換留学を行うなど、親

睦を深めてきました。

学術交流協定更新調印式では、今後の交流を通して両大学がさらなる発展を遂げることを期待し、かたい握手が交わされました。

1月12日(木)日本福祉大学と フットサルの交流会を行いました

日本福祉大学と本学が2016年8月4日(木)付で締結した連携協定に基づき、本学のフットサルチームのメンバーら17人が1月12日(木)、日本福祉大学東海キャンパスの体育館で、交流と練習試合を行いました。

当初は緊張気味だった両校の学生も、練習試合を進めるうちに互いに打ち解け、和やかなムードに。時折、強烈なシュートや絶妙な連係プレーも見られるなど、迫力のある試合展開となりました。

今後は、本学のフットサルチームのメンバーが、日本福祉大学の東海キャンパスで定期的に開かれる練習会に参加し、友好関係を深めていく予定です。



大同大学奨励賞 授与式を行いました

2月15日(水)、学長室にて、大同大学奨励賞の授与式が行われました。

奨励賞は、学内又は学外における社会貢献等の活動実績が、本学の名誉を高める模範的な行為として認められたもので、学科又は学生部が推薦するものが対象となります。

2016年度は、吹奏楽団(団長 吉野光汰 他44名)に奨励賞が授与されました。

吹奏楽団は演奏活動により地域社会に多く貢献しており、1985年

E.D.P.S部

1月5日(木)～1月20日(金)、 展示室にて過去作品を展示しました

1月5日(木)～1月20日(金)、本学の展示室にて、E.D.P.S部の過去作品展示会を開催しました。

E.D.P.S部のE.D.P.Sとは“Electronic Data Processing System”(電子データ処理組織)の略で、コンピュータ(PC、スマート、タブレットなど)を用いて作品を制作し、発表し合うなどの活動をしています。最近では、イラストやCG、DTM(デスクトップミュージック)、ゲームプログラム、動画などさまざまな作品を制作しており、今回は卒業生が作成したものも含めて、CG、DTM、ゲームプログラムなどを展示しました。

コンピュータで作ることができる様々な作品を通じて、E.D.P.S部の活動を少しでも知ってほしいという思いで開催した今回の展示は、部員にとっても作品制作のモチベーションアップにつながりました。

～部員からコメント～

E.D.P.S部は大学祭やコミックマーケットなどで作品を発表、頒布していますので気になる作品を見かけたときには声を掛けてくださると嬉しいです。



(昭和60年)の発足以来、大学行事(入学式、学位記授与式、大学祭、オープンキャンパス、留学生のウェルカムパーティーなど)での演奏の他、地域の各団体からの演奏依頼に応えています。2016年度は特に活動しており、月に3回以上、学外で活動することも多くありました。

また、12月には、南医療生協かなめ病院から演奏やボランティア活動について、感謝状を頂きました。

学内だけでなく、地域に積極的に貢献する姿勢は大同大学の誇りと言えます。今後も吹奏楽団に期待しています。



新任教員紹介



赤池 宏之 教授
工学部 電気電子工学科

2017年4月に着任いたしました赤池です。専門は超伝導エレクトロニクスで、学生時代から一貫して取り組んできました。学生の皆さんとともに教育研究に励みながら、超伝導エレクトロニクスの魅力をアピールできたらと思っています。よろしくお願ひいたします。



植田 俊明 教授
工学部 電気電子工学科

2017年4月に工学部電気電子工学科に着任しました植田です。これまで電力会社の研究所で送変電設備の耐雷対策などの研究に携わってきました。企業での経験と知識を生かして若い皆様と一緒に研究や教育に励んでいきたいと思います。



山口 一 教授
情報学部 総合情報学科
かおりデザイン専攻

本年4月に着任しました山口一(まこと)です。これまで企業の研究所で、人と関連の深い室内環境の研究開発を進めてきました。本学では、「におい・かおり」を中心とした基礎研究を通じ、本分野の実用化の教育に取り組んでいきたいと考えています。



高柳 伸一 准教授
工学部 建築学科
建築・インテリア専攻

2017年4月1日に就任した高柳です。専門は西洋建築史・都市史で、その中でも、近世スペインの都市建築史を主に研究しています。これまで培ってきた経験や知識を私の母校でもあります大同大学の教育現場で活かしてゆきたいと考えております。よろしくお願いします。



船橋 仁奈 准教授
工学部 建築学科
建築・インテリア専攻

2017年4月に工学部建築学科に着任しました船橋です。私がデザインを行う上で大切にしていることは、見えない価値を顕在化させ、それを多くの人が「共有できる」モノやコトとして表現するということです。ごく当たり前に存在する風景の中に、たくさんのデザインのきっかけが潜んでいることを伝えていければと思います。どうぞ宜しくお願いします。



伊藤 僚 准教授
教養部 保健体育教室

教養部保健体育教室に着任しました伊藤僚です。専門は運動・スポーツ生理学で、特に降雨や風による身体冷却が運動中のヒトに及ぼす生理的影響を研究しています。スポーツを科学として捉える授業を心掛けてまいります。よろしくお願い致します。



樋口 恵一 講師
工学部 建築学科
土木・環境専攻

建築学科土木・環境専攻に着任した樋口です。専門は交通計画で、交通まちづくりや交通現象解析などの研究を行ってきました。本学では前職での実務経験を活かして、実社会をフィールドとした教育・研究活動に取り組んでいきます。



木場 裕紀 講師
教養部 教職教室

東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。日本学術振興会特別研究員を経て、2017年4月より現職。専門は教育学でカリキュラムをめぐる学校と教育行政の関係性について研究を進めます。また舞踊教育にも関心を持ち、特に日米の舞踊教育の歴史や芸術政策についても継続的に調査を行っています。

平成28年度 学位記授与式を挙行しました

3月17日(金)、本学石井記念体育館で学位記授与式を挙行しました。

澤岡昭 名誉学長(当時 学長)は、「学生時代の友達は一生頼りになる財産です。どうぞこれからも友達を大切にしてください。どのように変わろうとも大同大学はみなさんにとって一生頼りになるふるさとです。健康に気を付け、困難を笑って乗り越え、元気で愉快な人生を送られることを、心から願っています。」と告辞を述べました。

卒業生総代の田中菜柚さん(工学部 建築学科 インテリアデザイン専攻)は「人生の中で、大学生活の4年間という月日は短いものとなるかもしれません、自分自身を大きく成長させるかけがえのない日々となりました。これからの人生では、今まで以上に困難が待ち受けていると思います。しかし、大同大学の卒業生としての誇りを持ち、どんな時もチャレンジ精神を忘れず一歩一歩前進していきたいと思います。」と答えました。

学位記授与式終了後には名古屋観光ホテルで卒業パーティーを行いました。



学長賞(学業)

学科・専攻	氏名	指導教員
機械工学科	柘植 香里	徳納 一成
機械工学科	高木 雄生	坪井 涼
総合機械工学科	牧田 直大	吉田 昌史
総合機械工学科	池田 英剛	大嶋 和彦
電気電子工学科	石神 健人	高木 康夫
電気電子工学科	原田 堅太	加納 善明
建築専攻	牛山 渉	佐藤 達生
インテリアデザイン専攻	小澤 武士	武藤 隆
土木・環境専攻	村田 大輔	鷲見 哲也
コンピュータサイエンス専攻	加藤 久暁	朝倉 宏一

学長賞(学業)

学科・専攻	氏名	指導教員
情報ネットワーク専攻	松田 紗希	柴田 慎一
メディアデザイン専攻	井上 彩香	上岡 和弘
プロダクトデザイン専攻	西尾 修朔	井藤 隆志
経営情報専攻	山本 司	西崎 雅仁
かおりデザイン専攻	近藤 早紀	光田 恵

学長賞(課外活動)

所属	氏名	指導教員
男子ハンドボール部	原田 一沙	佐藤 壮一郎
女子ハンドボール部	高橋 奈々	齊藤 慎太郎

学長賞(大学院)

専攻	氏名	指導教員
機械工学専攻	伊藤 弘哲	前田 安郭
機械工学専攻	金山 裕一	坂倉 守昭
電気電子工学専攻	田島 誠也	堀尾 吉巳
電気電子工学専攻	三浦 大貴	山田 靖
建築学専攻	杉山 慎治	宇野 享
都市環境デザイン専攻	吉川 慎平	鷲見 哲也
都市環境デザイン専攻	廣瀬 正幸	光田 恵
情報学専攻	小川 萌恵	横山 弥生

人 事

理事・監事及び評議員人事

●就任(H29.4.1)

【理事】

神保 瞳子(大同大学 学長)

徳納 一成(大同大学 工学部 機械工学科 教授)

【評議員】

徳納 一成(大同大学 工学部 機械工学科 教授)

横山 弥生(大同大学 情報学部 情報デザイン学科 教授)

渡邊 慎一(大同大学 工学部 建築学科 教授)

●退任(H29.3.31)

【理事】

澤岡 昭(大同大学 学長)

佐藤 達生(大同大学 工学部 建築学科 教授)

【評議員】

佐藤 達生(大同大学 工学部 建築学科 教授)

神保 瞳子(大同大学 工学部 電気電子工学科 教授)

水澤 富作(大同大学 工学部 建築学科 教授)

人事

●退任(H29.3.31)

澤岡 昭(大同大学 学長)

佐藤 達生(大同大学 副学長)

井上 孝司(大同大学 副学長)

大嶋 和彦(大同大学 副学長)

●就任(H29.4.1)

神保 瞳子(大同大学 学長)

徳納 一成(大同大学 副学長)

横山 弥生(大同大学 副学長)

渡邊 慎一(大同大学 副学長)

都築 孝宜(大同大学大同高等学校 教頭)

●退職

【法人本部・大学】

〔教育職員〕(H29.3.31)

五十川 幸宏(工学部 総合機械工学科 教授)

武田 秀雄(工学部 電気電子工学科 教授)

佐藤 達生(工学部 建築学科 教授)

水澤 富作(工学部 建築学科 教授)

岩橋 尊嗣(情報学部 総合情報学科 教授)

加藤 和雄(工学部 建築学科 教授)

鈴木 雅博(教養部 准教授)

瀬川 重男(教養部 特任教員)

〔事務職員〕(H29.3.31)

冷水 孝夫(大学事務部 研究・産学連携支援室長)

●採用

【法人本部・大学】

〔教育職員〕(H29.4.1)

赤池 宏之(工学部 電気電子工学科 教授)

植田 俊明(工学部 電気電子工学科 教授)

山口 一(情報学部 総合情報学科 教授)

高柳 伸一(工学部 建築学科准教授)

船橋 仁奈(工学部 建築学科准教授)

伊藤 優(教養部 准教授)

樋口 恵一(工学部 建築学科講師)

木場 裕紀(教養部 講師)

平 博仁(工学部 総合機械工学科特任教員
(任期:H29.4.1 ~ H30.3.31))

矢野 治久(工学部 総合機械工学科特任教員
(任期:H29.4.1 ~ H30.3.31))

武田 秀雄(工学部 電気電子工学科特任教員
(任期:H29.4.1 ~ H30.3.31))

稻垣 卓造(工学部 建築学科特任教員
(任期:H29.4.1 ~ H30.3.31))

佐藤 達生(工学部 建築学科特任教員
(任期:H29.4.1 ~ H30.3.31))

水澤 富作(工学部 建築学科特任教員
(任期:H29.4.1 ~ H30.3.31))

國立 勉(情報学部 情報システム学科特任教員
(任期:H29.4.1 ~ H30.3.31))

田中 秀和(情報学部 情報システム学科特任教員
併任 情報学部 情報デザイン学科特任教員
(任期:H29.4.1 ~ H30.3.31))

岩橋 尊嗣(情報学部 総合情報学科特任教員
(任期:H29.4.1 ~ H30.3.31))

水野 義雄(教養部 特任教員
併任 情報学部 総合情報学科特任教員
(任期:H29.4.1 ~ H30.3.31))

〔事務職員〕(H29.4.1)

齊藤 貴伸(大学事務部 研究・産学連携支援室長)

佐々木 健流(企画調整部 経理室)

●昇任

【法人本部・大学】

〔教育職員〕(H29.4.1)

小里 泰章(工学部 総合機械工学科教授)

桑野 茂(情報学部 情報システム学科教授)

竹内 義則(情報学部 情報システム学科教授)

小澤 茂樹(情報学部 総合情報学科教授)

佐藤 壮一郎(情報学部 総合情報学科教授)

柳原 克行(教養部 教授)

藤森 繁(工学部 建築学科准教授)

棚村 壽三(情報学部 総合情報学科准教授)

〔事務職員〕(H29.4.1)

肥田 智(総務部 人事室長(次長待遇))

堀木 俊宏(大学事務部 学生室(主査待遇))

●異動

【法人本部・大学】

〔事務職員〕(H29.4.1)

稻垣 幸男(企画調整部 入試・広報室)

木村 雅美(企画調整部 情報室)

北出 真(大学事務部 教務室)

平野 益子(大学事務部 教務室)

岡田 知子(大学事務部 キャリア支援室)

【高校】

〔事務職員〕(H29.4.1)

相原 美輝(総務部 高校事務室)

妹尾 都(総務部 高校事務室)

●称号授与

【大学】

〔名誉学長〕(H29.4.1)

澤岡 昭(元大同大学 学長)